

都市再生整備計画 事後評価シート
赤塚駅周辺地区

平成23年3月

茨城県水戸市

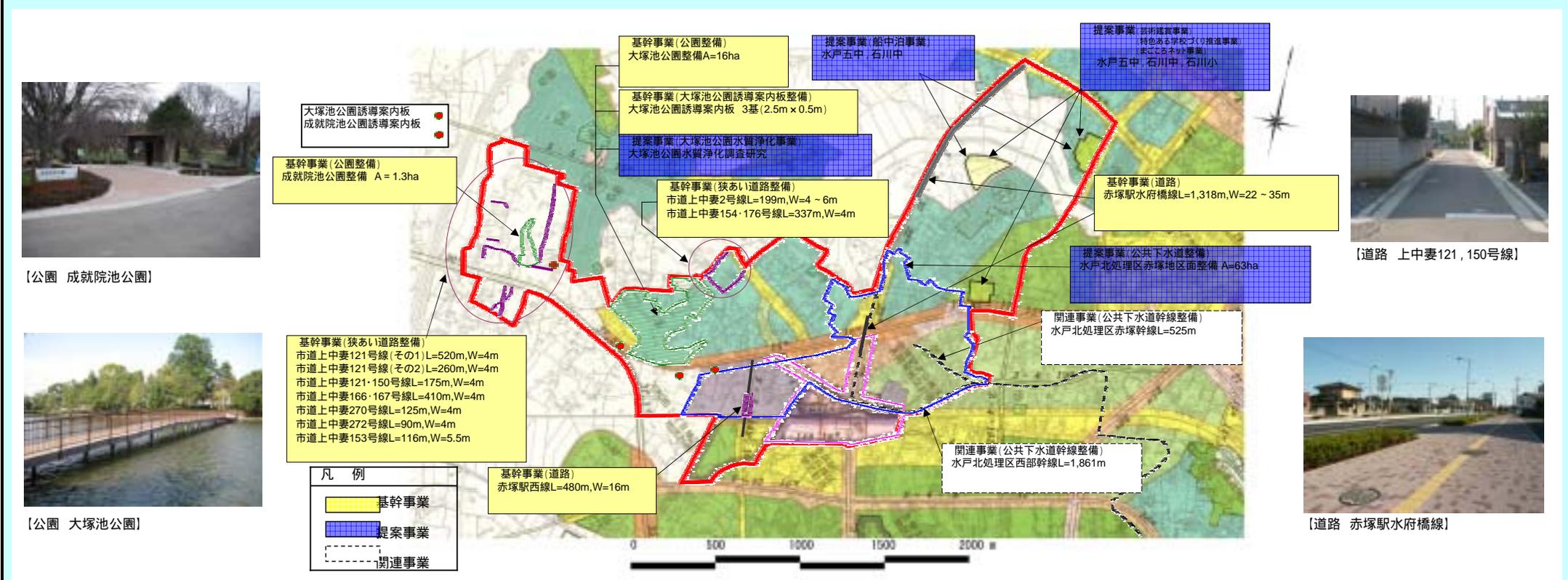
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	水戸市	地区名	赤塚駅周辺地区			面積	350ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,983百万円	国費率	0.361			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	道路(赤塚駅西線 外10路線)、公園(大塚池公園 外1公園)、地域生活基盤施設(大塚池公園誘導案内板)								
	新たに追加した事業		提案事業	地域創造支援事業(公共下水道事業)								
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(赤塚駅西線側道)		道路:事業の精査により削除			駐車場の利用台数の指標に係るが、数値目標は据え置く				
提案事業	地域創造支援事業(消防施設整備事業)、事業活用調査(赤塚北口地区活性化事業)		地域創造支援事業:事業の精査により削除 事業活用調査:事業の精査により削除			まちづくりの目標達成に向け影響があるが目標も指標も据え置く						
基幹事業	道路(上中妻153号線)、地域生活基盤施設(成就院池公園誘導案内板)		道路:地域における防災性と安全性の向上を図る 地域生活基盤施設:利用者の利便性の向上を図る			狭あい道路の解消率及び公園の利用者数の指標に係るが、数値目標は据え置く						
提案事業	地域創造支援事業(大塚池公園水質浄化事業、芸術鑑賞事業、特色ある学校づくり推進事業、まごころネット事業、船中泊事業)		地域創造支援事業:豊かな自然と調和したまちづくりと心身ともに調和のとれた健全な子どもの育成を図る			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。						
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
	変更	-		-			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	車両の走行時間	分	5	H17	2	H22	5	×	あり なし	赤塚駅西線の道路整備が未完成のため、目標値に達することはできなかったものの、赤塚駅水府橋線における国道50号交差点までの整備によって南北間の車両の走行時間は従前値の5分22秒から3分31秒に短縮したことから、事業における一定の効果が図られた。	H24年3月
	指標2	駐車場の利用台数	台/月	280	H17	350	H22	250	×	あり なし	駅北口広場駐車場では利用台数が従前値から30台減少(H17:280台 H22:250台)しており評価値が目標値に達していないものの、駅南口広場に隣接する有料駐車場は従前値から858台増加(H17:11,137台 H22:11,995台)していることから、事業による一定の効果が図られた。	H24年4月
	指標3	下水道の普及率	%	40	H17	90	H22	90		あり なし	下水道未整備地区における下水道整備を実施したことにより、本地区面積において90%の下水道が普及し、快適で衛生的な生活環境が向上した。	H24年4月
	指標4	公園の利用者数	人/日	800	H17	1,000	H22	1,029		あり なし	大塚池公園の施設整備によって、利用者数が1,029人となり、公園内の利便性が向上し、人と自然がふれあう空間づくりが実現した。	H24年10月
	指標5	狭あい道路の解消率(幅員4m未満の道路の解消率)	%	7	H17	42	H22	42		あり なし	狭あい道路の拡幅整備により、解消率は従前値の7%から42%となり、地区内における狭あい道路の解消率が改善したことにより、地域における防災性と安全性が向上し安全、安心な居住環境の形成が図られた。	H24年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	車両の走行時間Bルート	分/km	5分22秒	H17			3分31秒			赤塚駅水府橋線における国道50号交差点までの整備によって南北間の車両の走行時間は、従前値の5分22秒から3分31秒に短縮したことから、賑わいのある商業地域の再生が図られた。	
その他の数値指標2	北口駐車場全体の利用台数	台/月	11,417	H17			12,245			本事業における赤塚駅水府橋線の整備により、北口駐車場全体の利用台数が、平成17年度の41,417台/月から平成22年度は12,245台/月と約830台/月増加し、賑わいのある商業地域の再生が図られた。	平成24年4月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 狭あい道路が拡幅整備されたことによって、安全に通行することができるようになった。 大塚池公園利用者に対して行ったアンケートでは、整備による公園全体の評価として「よくなった70%、ややよくなった19%、との結果となり、公園整備に伴い、利用者の利便性と満足度が向上した。 都市再生整備計画事業の対象事業となることによって事業の整備が進んだ。 											
5)実施過程の評価	実施内容										今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	実施状況									
	住民参加プロセス	公園事業である「成就院池公園」については、同地でサギソウの自生地復元に取り組んでいる「大塚成就院池サギ草を育てる会」から意見をいただき、整備に反映させている。同会は、平成5年より、茨城県で絶滅危惧種に指定されているサギソウの自生地復元活動を開始し、毎年8月上旬にはサギソウの鑑賞会を開催している。	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 					今後も地域組織との意見交換等を実施し、豊かな地域コミュニティの実現に向けて連携を図る。				
持続的なまちづくり体制の構築	なし	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 										

様式2-2 地区の概要

赤塚駅周辺地区(茨城県水戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
	大目標: 赤塚駅周辺地区における拠点開発の効果を高めるため拠点機能の充実を促進する。 目標1: 鉄道による市街地の分離を道路整備により解消し、賑わいのある商業地域の再生を図る。 目標2: 快適で衛生的な生活環境の改善を図るとともに、人と自然がふれあう空間づくりを目指す。 目標3: 地域における防災性と安全性の向上を図り安全、安心な居住環境を形成する。	車両の走行時間	単位:分	5 H17	2 H22
駐車場の利用台数		単位:台/月	280 H17	350 H22	250 H22
下水道の普及率		単位:%	40 H17	90 H22	90 H22
公園の利用者数		単位:人/日	800 H17	1,000 H22	1,029 H22
狭あい道路の解消率		単位:%	7 H17	42 H22	42 H22
車両の走行時間Bルート		単位:分/km	5分22秒 H17		3分31秒 H22
北口駐車場全体の利用台数		単位:台/月	11,417 H17		12,245 H22



【公園 成就院池公園】



【公園 大塚池公園】



【道路 上中妻121, 150号線】



【道路 赤塚駅水府橋線】

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 赤塚駅水府橋線が国道50号交差点まで整備されたことにより、駅前アクセスが改善され利便性が向上した。また、駅北口駐車場の利用台数が増加し、乗客者の増加が図られ、北口地区の賑わいに一定の効果を得られた。 下水道未整備地区の整備を行い衛生環境が向上した。また、大塚池公園及び成就院池公園の施設老朽化に伴う園路、四阿等の施設等の整備を行い、利用者の利便性が向上した。 狭あい道路の拡幅整備により、解消率は従前値の7%から42%となり、地区内における狭あい道路の解消率の向上により、安全な居住環境や緊急時におけるまちの安全性が強化された。 各小中学校での独自の活動や地域の実態等を生かした教育活動として、花に囲まれた美しい学校づくりや芸術鑑賞会等を開催し、特色ある学校づくりを推進することができた。 安心と安全な居住環境を形成するため、各学校をネットでつなぎ、ホームページ作成や地域の不審者情報などを学校間で共有できる環境を構築することができた。 赤塚駅西線が未整備であるため、鉄道における市街地の分離を解消し、南北地区の一体化を図り、賑わいのある商業地域の再生を図ることが求められる。 幹線道路等の基盤施設は整備されつつあるものの、北口地区商店街の再生の課題が残る。 大塚池公園におけるアクセス改善が求められる。大塚池公園においては、施設整備が進んだものの、一部未整備の施設が残ることから、さらなる整備が望まれる。 狭あい道路の整備により、狭あい道路の解消率は42%と向上したものの、地区内全域の狭あい道路が解消されていないことから、さらなる安全な居住環境の向上に向けた推進が望まれる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路赤塚駅水府橋線及び赤塚駅西線の早期完成を目指し駅周辺における交通利便性の向上を図るとともに、北口地区商店街の再生に向けた検討を行い、賑わいのある商業地域の再生を図る。 人と自然がふれあう空間づくりのための大塚池公園へのアクセス改善とさらなる施設整備や健全で調和の取れた人間関係を育むために特色ある学校づくりを推進する。 災害発生時等の対応困難地域における狭あい道路の解消を図るとともに、まごころネット事業や既存消防施設の防災機能の強化拡充を図り、安全で安心な居住環境の形成に向けた推進を図る。